



藤沢市、NTTグループ2社と三者連携協定を締結 ～「藤沢DX」推進と人材育成を目的とした相互協力体制を構築～

藤沢市（市長：鈴木 恒夫）は、東日本電信電話株式会社 神奈川事業部（執行役員 神奈川事業部長：相原 朋子）と、株式会社NTT DXパートナー（代表取締役：長谷部 豊）との間で、市のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に資する取組として、三者連携協定を締結しました。

藤沢市では「藤沢DX」として、行政を取り巻くあらゆる課題に対し、官民双方が保有する「ノウハウ」「強み」を融合し課題解決を図るとともに、価値の高いサービスを生み出すことにより、市民一人ひとりのウェルビーイング向上を目指す取組を進めております。

この度締結した三者連携協定においては、喫緊の課題であるデジタル人材育成を軸とし、アセットの有効活用や実証フィールドの提供など、相互に協力が可能な分野において、藤沢DXの取組を加速してまいりたいと考えております。

また、本協定の締結と並行し、生成AIのユースケース創出にかかる三者連携協定を締結しており、今後は、こうした実証とも連動しながら、新しい価値の創出に取り組んでまいります。

NTT東日本 × 藤沢市 × NTTDXパートナー

市のDX推進と人材育成を目的とした相互協力体制

自社アセット有効活用	藤沢DXを担う人材育成	人材育成関する支援
<p>生成AI ※イメージ</p> <p>・アセットを有効的に活用しながら、共同実証を通じ、<u>先進的なサービス等のユースケースを共創する。</u></p>	<p>・実践を通じ、藤沢DXを推進するデジタル人材を育成し、<u>市民ニーズの高い行政サービスを創造する。</u></p>	<p>・行政のフィールドにおける<u>新たな人材育成手法の試行や、内部人材の強化を図る。</u></p>

相互で活用するアセットの例

1 東日本電信電話株式会社
社屋内で活用が可能なスペース

- ・デジタル人材育成にかかる研修スペースとして活用
- ・相互人材の交流の場として活用

2 NTTグループとして実装に向け取組を進めている生成AI

- ・別途締結する協定に基づき、生成AIの自治体業務での活用を実証する取組を実施
- ・実証に伴い、基礎理解を促す研修会を開催 等



藤沢市庁舎とNTT藤沢ビル

共創的に「藤沢DX」の推進に向けたアイデア創出などを行う

DXの実践を通じた 「デジタル人材」の育成